

令和5年度第1回旭川市科学館協議会議事録

日時

令和5年6月30日（金曜日）午後3時から午後4時まで

場所

旭川市科学館1階 学習・研修室

出席者

（委員）

大槻会長，高野副会長，松浦委員，石田委員，金谷委員，古崎委員，高橋委員，高橋委員
（事務局）

佐藤社会教育部長，吉田科学館長，中田主幹，三浦副館長，福谷主査，川辺主査，
大瀧主査，南雲主査，近藤主査，藤原主査

会議の公開・非公開

公開

傍聴者の数

なし

会議資料

資料1 旭川市科学館報 — 令和4年度版 —

資料2 （仮称）「未来の社会・みらいのじぶん」2024年4月 公開予定

資料3 プラネタリウム100周年記念展

会議要旨

1 開会

2 議事

(1) 令和4年度施設利用者数及び事業実績概要について

会長	議事(1)について，事務局から説明願う。
事務局	資料1に基づき説明
会長	議事(1)について，質問，意見等の発言を願う。
委員	特別展「恐竜ワールド～探検して学ぶ恐竜時代～」の入場者の年齢層はどのようなになっているか。
事務局	年齢層のデータは採取していないが，親子連れが多かった印象がある。

委員	自分としては、3歳以上から特別展の入場料が必要になるのはどうかと感じていた。小学生以上から有料とし、高校生以上の料金を増額するというようなことはできなかったのか。
事務局	以前の特別展も3歳以上から有料としていた経過があり、それを踏襲し、3歳以上を有料とした。また3歳になれば、一定程度展示等への理解力もあるとの考えから、3歳以上を有料とした。 料金設定は、必要コストを積算して計算しているが、高校生以上と高校生未満でどのように配分するかについては、事務局としても非常に悩んで決定した。次回開催時は、今回の意見を参考にしたい。
委員	資料1の6ページの「5 利用状況(1) 施設利用者数(令和4年度)」の人数は、特別展の入場者数も含まれているのか。 また、10月から12月までの入場者数が、令和3年度よりも少なかった理由は何か。
事務局	施設利用者数の集計には、特別展の入場者数も含まれている。 10月から12月までの入場者数が、令和3年度よりも少なかったのは、令和3年度に利用があった団体(修学旅行等)の利用が、令和4年度に減少したことによる。
委員	資料1を見ると、すごく色々な活動を実施していることがわかるが、もう少し小学生が興味をもちやすいような内容の検討、実施内容をもう少し詳しくわかるような説明、また、小学校就学前の子どもへの広報の充実をお願いしたい。
事務局	小学校と中学校には年4回イベントのチラシを配布している。紙面の都合等で内容的に対象者に伝わりにくい部分はあったかもしれないので、その部分は工夫をしていきたい。 科学館では、数は多くはないが、未就学児を対応した事業も実施している。施設利用者のボリュームゾーンの年齢層は低い傾向にあるので、ニーズのある世代に向けた事業を進めていきたい。 科学館の事業は、小学生以上が多いということもあり、小学生以上と比べると未就学児への広報は弱かったため、今後は、未就学児への広報も工夫をしていきたい。
会長	他に意見等がなければ次に進む。

(2) 令和5年度旭川市科学館の事業の取り組み状況と今後の予定について

会長	議事(2)について、事務局から説明願う。
事務局	資料2及び資料3に基づき説明
会長	議事(2)について、質問、意見等の発言を願う。
委員	2024年(令和6年)4月公開予定の展示物の製作途中の状態を見せてもらうことは可能か。

事務局	展示物の委託業者が東京のため、搬入直前まで展示物の製作は東京で行われ、令和6年3月に一気に現展示物の撤去と新展示物の設置を行う予定となっているため、途中の状態の展示物を見ていただくのは困難。
委員	プラネタリウム100周年というのは、全国共通だが、例えば、名寄の天文台と連携するなど、何らかの情報交換等を行っているか。
事務局	日本プラネタリウム協議会という全国的な組織があり、そちらと連携している。今回配布したチラシも、この協議会の公式のロゴマークを使用している。国内の連携だけではなく、国外の事業者とも連携し、通常は提供してもらえないようなデータの提供を受けている。 プラネタリウムの協議会では、公認企画というのがあり、現時点で、北海道内の公認企画は旭川だけという状況になっている。
委員	他の科学館等でどんなイベントを行っているのかがわかると、興味がある人は、他館にも行ってみようと思うのではないか。
事務局	企画展来場者に、他館の企画展開催状況がわかるような情報提供を行う。
委員	自分は千葉県出身で、千葉では貝塚からよく土偶が出土するといった地域性があった。北海道に来て、黒曜石等のきれいな石が河原等でよく見つかるのは、北海道の地域性だと感じている。今後、企画展等の題材としてとりあげられればよいのではないかと思っている。
事務局	ちょうど近日中に「河原で石拾い」という事業を予定している。これらの事業を通じて、石そのものや、石の形状、石を通じて旭川のなりたち等への理解を深めるような取り組みを行っていききたい。
委員	資料1の裏表紙にQRコードが掲載されているが、ここにアクセスすると、イベント情報等がわかるようになっているのか。
事務局	ご推察のとおり、開催が近いイベント等の情報は、随時科学館のホームページ等に掲載している。
委員	旭川の児童・生徒に1人1台タブレットが配られているので、タブレットを活用して、科学館等の情報にアクセスしてみるといったことも取り組んでいきたい。
会長	他に意見等がなければ次に進む。

(3) その他

会長	議事(3)について、事務局から説明願う。
事務局	ありません。
会長	委員に、ほか質問、意見等の発言を願う。
委員	知的好奇心旺盛な大人もいるので、大人向けの講座を増やして欲しい。 科学館が、施設利用者が気軽に質問でき、多くの市民に親しんでもらえるような場所になって欲しい。

	<p>そのために、次の3点の取り組みを提案したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員のプロフィールを紹介すること。 ・職員が自分が興味を持っている分野に関する講座を担当。 ・1度でも科学館の事業に参加した人は、科学館のファンになる人が多いと思うので、既存の講座で制限人数を超える応募がある場合は、科学館の講座に初めて申し込んだ人を優先し、科学館のファンを増やすこと。
事務局	<p>今、この場で即答するのは難しい内容なので、即答はできないが、科学館として、取り組むべき課題ではあると認識しているので、少し時間をかけて検討していきたい。</p>
会長	<p>他に意見等がなければ次に進む。</p>

3 閉会